

CVP サーバおよびコール スタジオ JRE/Java サポート、互換性、アップグレード ポリシーおよびファイル

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[サポートおよび互換性](#)

[CVP コール スタジオ](#)

[CVP サーバ](#)

[CVP のアップグレード プロセス](#)

[JRE のマイナーなアップデート](#)

[アップグレード手順](#)

概要

資料は Cisco Unified Customer Voice Portal (CVP) およびコール スタジオで Java サポート、互換性および主要なアップグレード ステップを提供したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- CVP
- コール スタジオ
- Microsoft Windows

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP バージョン 8.5、9.0 および 10.X
- コール スタジオ バージョン 8.5、9.0 および 10.X

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

サポートおよび互換性

CVP コール スタジオ

この表に言及されているようにサポートされたデフォルト Javaランタイム環境 (JRE) バージョンを実行して下さい:

CVP スタジオ バージョン	デフォルト JRE バージョン
10.0(1)	1.6
10.5(1)	1.7

注: JRE アップグレードはコール スタジオでサポートされません。この制限は JRE の以降のバージョンをサポートしないプラグインおよび食が原因です。

CVP サーバ

サポートされた JRE バージョンの現在の一覧はこの表で表示されます:

CVP バージョン	デフォルト JRE バージョン	サポートのためにテストされる追加 JRE バージョン
10.0(1)	1.6	該当なし
10.5(1)	1.7	該当なし

注: 現在のインストールをアップグレードする前にサポートされた JRE バージョンをチェックして下さい。他のどのバージョン (より早いまたはそれ以降) も前の表にリストされていないサポートされません。

CVP のアップグレードプロセス

JRE のマイナーなアップデート

[ソフトウェアダウンロードツール](#)は Java をアップグレードするために使用されます (たとえば、1.6.0_81 への 1.6.0_24)。

統一された CVP サーバの JRE バージョンのマイナーなアップデートを完了するために JREUpdate.bat スクリプトを使用して下さい。たとえば、スクリプトは JRE バージョン 1.6.0_24 から 1.6.0_81 にマイナーなアップデートをします。

注: スクリプトは JRE バージョンの主要なアップグレードをサポートしません。たとえば、JREUpdate.bat スクリプトは JRE バージョン 1.6.0_81 から 1.7.0_45 にアップグレードを完了できません。

アップグレード手順

1. パーソナルコンピュータで優先する Java Development Kit (JDK) バージョンをダウンロードし、インストールして下さい。
2. 統一された CVP サーバの既知位置にインストール済み JDK の内で利用可能な JRE フォルダをコピーして下さい。JRE フォルダは JDK インストールのルートフォルダの中で利用で

きます。たとえば、C:\JRE か C:\jdk1.7.0_67\jre。

3. CVP サーバの既知 位置に JREUpdate.zip コンテンツを解凍して下さい。たとえば、C:\Cisco\CVP\bin。
4. 統一された CVP サーバの JRE バージョンをアップデートするために、コマンド プロンプトからこのスクリプトを実行して下さい: **C:\Cisco\CVP\bin >JREUpdate.bat は C:\JRE を適用します**
5. スクリプトは新しいバージョンにアップデートされる CVP JRE gets 実行し。スクリプト出力が更新済 JRE バージョンを表示するもののようにして下さい。
6. JREUpdate.bat スクリプトは C:\Cisco\CVP\jre.old で古い JRE のバックアップを奪取します。JRE の前のバックアップバージョンに戻るために、コマンド プロンプトからこのスクリプトを実行して下さい:**C:\Cisco\CVP\bin >JREUpdate.bat は戻ります**

注: CVP JRE は JConsole ツールが含まれています。JRE への正常なアップデートが、ツール バックアップ フォルダの中しか利用できなかった後- jre.old/ビン。問題をデバッグする必要があったらバックアップ フォルダ内からのツールを直接使用して下さい。